

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2024年総目次(234～245号。全12号配信)

234号:2024. 1. 5 (21頁+別ファイル)

1. 論文: 現行地域医療構想を振り返り、2040年に向けた新たな地域医療構想の課題を考える
(「二木教授の医療時評(216)」『文化連情報』2024年1月号(550号):28-35頁+表紙別ファイル) …2頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算214回:2023年分その10:7論文) ……8頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介(その228) –最近知った名言・警句 ……13頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第32回) ……15頁

235号:2024. 2. 5 (30頁)

1. 論文: 医療の質を向上させつつ医療費を抑制するとの諸提案の検証
(「二木教授の医療時評(217)」『文化連情報』2024年2月号(551号):32-38頁) ……2頁
2. 論文: 日本医療の歴史と現実を踏まえたかかりつけ医機能の強化—この間の論争と西欧医療の現地調査を踏まえて
『月刊/保険診療』2024年1月号(79巻1号):52-56頁) ……8頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算215回:2023年分その11:8論文) ……15頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その229) –最近知った名言・警句 ……22頁
5. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第33回) ……24頁

236号:2024. 3. 5 (27頁)

1. 論文: 「生活習慣病」と「健康の社会的決定要因」の用語見直しの必要性・再論
(「二木教授の医療時評(218)」『文化連情報』2024年3月号(552号):40-46頁) ……2頁
2. 書評: 川越正平編著『医師アウトリーチから学ぶ地域共生社会実現のための支援困難事例集』
(『週刊医学界新聞』2024年1月15日号) ……8頁
3. 日医総研「欧州医療調査報告会」(2024年2月4日)・特別発言 ……9頁
4. 新著『病院の将来とかかりつけ医機能』の「はしがき」と目次 ……10頁
5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算216回:2023年分その12:9論文) ……13頁
6. 私の好きな名言・警句の紹介(その230) –最近知った名言・警句 ……19頁
7. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第34回) ……21頁

237号:2024. 4. 5 (20頁+別ファイル2)

1. 新著『病院の将来とかかりつけ医機能』出版記念インタビュー: 報酬改定を機に
新たな地域医療構想へ(『文化連情報』2024年4月号(563号):22-28頁) …別ファイル(240『文
化連情報』新著インタビュー)
2. 論文: 『医療・福祉研究塾(二木ゼミ)の紹介』
(『総合リハビリテーション』2024年3月号(52巻3号):303-306頁) ……2頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算217回:2024年分その1:5論文) ……7頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その231) –最近知った名言・警句 ……11頁
5. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第35回) ……13頁

番外：大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書（2024年度版,ver.25）…別ファイル（24院本推薦訂.pdf）

238号:2024. 5. 5（28頁）

1. 論文：2024年度診療報酬改定を複眼的に評価する（「二木教授の医療時評（219）」『文化連情報』2024年5月号（554）：364頁）……………2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策関連の英語論文（通算218回:2024年分その2：7論文）……………11頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その232）—最近知った名言・警句……………17頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介（第36回）……………19頁

239号:2024. 6. 5（26頁＋論文図表ファイル）

1. 論文：私が在宅ケアの「リアルコスト」・社会的費用を計算した経緯を振り返る（「二木教授の医療時評（220）」『文化連情報』2024年6月号（555号）：28－36頁）……………2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策関連の英語論文（通算219回:2024年分その3：9論文）……………10頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その233）—最近知った名言・警句……………16頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介（第37回）……………18頁

240号:2024. 7. 5（24頁）

1. 論文：日本の診療所は非効率で集約が必要か？—財政審「建議」の新説の検討（「二木教授の医療時評（221）」『文化連情報』2024年7月号（556号）：36－41頁）……………2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策関連の英語論文（通算220回:2024年分その4：9論文）……………7頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その234）—最近知った名言・警句……………14頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介（第38回）……………16頁

241号:2024. 8. 5（25頁）

1. 論文：「骨太方針2024」の医療・社会保障改革方針を複眼的・批判的に読む（「二木教授の医療時評（222）」『文化連情報』2024年8月号（557号）：229頁）……………2頁
2. 書評：高山一夫『現代アメリカ医療政策の展開 ポストコロナへの軌跡とバイデン政権』（『民医連医療』2024年7月号：67頁）……………99頁
3. 最近表された興味ある医療経済・政策関連の英語論文（通算221回:2024年分その5：8論文）……………10頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その235）—最近知った名言・警句……………16頁
5. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介（第39回）……………18頁

242号:2024. 9. 5（20頁）

1. 論文：「医療費適正化」は「医療費抑制」と同じ意味で使われてきた—歴史的検証（「二木教授の医療時評（223）」『文化連情報』2024年9月号（558号）：34－41頁）……………2頁
2. 最近表された興味ある医療経済・政策関連の英語論文（通算222回:2024年分その6：6論文）……………9頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その236）—最近知った名言・警句……………13頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介（第40回）……………15頁

243号:2024. 10. 5 (21頁)

1. 論文:「こころの健康」を初めて論じた『令和6年版校正労働白書』第1部
(「二木教授の医療時評」(224)『文化連情報』2024年10月号(559号):283頁) …2頁
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算223回:2024年分その7:7論文) ……7頁
3. 私の好きな名言・警句の紹介(その237) –最近知った名言・警句……………12頁
4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第41回) ……14頁

244号:2024. 11. 5 (21頁)

1. 論文:自民党総裁選挙と石破新総裁・内閣の社会保障・医療政策(「二木教授の医療時評」(225)『文化連情報』2024年11月号(560号):20–24) …2頁
2. 論文:岸田内閣の「高齢社会対策大綱」をどう読むか?(『日本医事新報』2024年10月5日号(5242号):58-59頁) ……7頁
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算224回:2024年分その8:7論文) ……10頁
4. 私の好きな名言・警句の紹介(その238) –最近知った名言・警句……………15頁
5. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第42回) ……16頁

245号:2024. 12. 5 (22頁+別ファイル)

1. 論文:医療・社会保障の選挙公約での与党と一部野党の「逆転現象」
(「二木教授の医療時評」(225)『文化連情報』2024年12月号(561号):22–25頁) …2頁
 2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文(通算225回:2024年分その9:9論文) ……6頁
 3. 私の好きな名言・警句の紹介(その239) –最近知った名言・警句……………12頁
 4. 私が毎月読めチェックした日本語の本・論文の紹介(第43回) ……14頁
- 補.「ニューズレター」2024年総目次(234～245号、全12号。医療経済・政策学関連の英語論文抄訳の目次、名言・警句の人名索引付き)(別ファイル:24 二木 NL 目次. pdf)

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」204 (234号～245号)

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計 91 論文 (累計 1553 論文, since 1985)

※特集全体の紹介は1論文に換算

234号(2024.1.5)(通算214回)(2023年分その10:7論文)

○ [アメリカの] 職場での差別 スケールの経済 肥満による賃金格差は以前考えられていたより深刻だ

Workplace discrimination Economics of Scale The obesity pay gap is worse than previously thought. The Economist November 25th 2023, page 62 [レポート]

○ [アメリカの] アージェントケア・センター (応急医療クリニック) はメディケア費用を削減するか?

Currie J, et al: Do urgent care centers reduce Medicare spending? Journal of Health Economics 102753 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 在宅リハビリテーションプログラムの急性期後スキルド・ナーシング施設ケアと比べての安全性、再入院及び地域復帰での効果 [プロペンシティ・] マッチング・コホート分析

Augustine MR, et al: Effects of a rehabilitation-at-home program compared to post-acute skilled nursing facility care on safety, readmission, and community dwelling status A matched cohort analysis. Medical Care 61(11):805-812,2023 [量的研究]

○ 救急外来での治療前後の患者のパスウェイ [かかりつけ医または専門医の受診]: ドイツにおける二次データを用いた後方視的分析

Droege P, et al: Patients pathways before and after treatments in emergency departments: A retrospective analysis of secondary data in Germany. Health Policy 138, December 2023,104944 [量的研究]

○ 認知症ウェルビーイング・サービスがイングランド・ブリストル市の認知症者の回避可能な入院 [等] に与えた影響の中断時系列評価

Jones T, et al: Interrupted time series evaluation of the impact of a dementia wellbeing service on avoidable hospital admissions for people with dementia in Bristol, England. Journal of Health Services Research & Policy 28(4):262-270,2023 [量的研究]

○ 病院入院の削減と長期入所ケアへの移行 [のためのケースマネジメントの便益]: 体系的文献レビュー

Herberg S, et al: Reducing hospital admissions and transfers to long-term inpatient care: A systematic literature review. Health Services Management Research 36(1):10-24,2023 [文献レビュー]

○ やっかいな問題を転嫁する。財政的圧迫を受けているオランダの市町村は高齢者の社会的ケアの費用を中央政府にシフトするインセンティブを持つ

Portrait F, et al: Passing on hot potato. Dutch municipalities under financial pressure have incentives to shift the costs of social care for older people to the central government. Health

Policy 137, November 2023,104914 [量的研究]

235号(2024.2.5)(通算215回)(2023年分その11:8論文)

○ [アメリカにおける] 包括的プライマリケア・プラスモデル [事業] と医療費、サービス利用及び質 [費用は削減されず、医療の質の改善もなかった]

Singh P, et al: The Comprehensive primary care plus model and health care spending, service use, and quality. JAMA.doi:10.1001/jama.2023.24712, Published online December 15, 2023 [量的研究]

○ 代替か補足か: オランダにおける新しいプライマリケア・モデル事業 [大学の医療センター外来の専門医診療の病院近傍の専門医診療所への移行] の観察研究

van den Bogaart, et al: Substitution of addition: An observational study of a new primary care initiative in the Netherlands. Journal of Health Services Research & Policy 28(3):157-162,2023 [量的研究]

○ アメリカ医療における [医療] 負債の回収—その歴史

Messac L: Debt collection in American medicine - A history. NEJM 389(17):1621-1625,2023 [歴史研究]

○ イギリスの精神保健の混乱 あまりにも多くの患者が医療化され、あまりにも多くの重症患者が無視されている

Britain's mental-health mess Too many mild cases are being medicalized; too many severe ones ignored. The Economist December 9th 2023;p.12, 51-53 [レポート]

○ [イタリアの市町村における個人の医療] サービスの過剰消費、過少消費、あるいは代替? 医療費の説明のつかない割合の空間的 [地理的] パターン

Torrini I, et al: Under-spending, over-spending or substitution among services? Spatial patterns of unexpected shares of health care expenditures. Health Policy 137(November 2023) 104902 [量的研究]

○ 貧弱な尺度に依拠した医療政策は効果がない: [アメリカ・メディケアの] 病院の再入院削減プログラムの教訓

Sheehy AM, et al: Health care policy that relies on poor measurement is ineffective: Lessons from the hospital readmission program. Health Services Research 8(3):549-553,2023 [評論 (コメント)]

○ [アメリカにおける] 経過観察滞在を統合した別の再入院尺度の下での病院のパフォーマンス

Sabbatini AK, et al: Hospital performance under alternative readmission measures incorporating observation stays. Medical Care 61(11):779-786,2023 [量的研究]

○ 1990-2021年に [アメリカの] 研究著者が用いている費用対効果の閾値

Neumann PJ, et al: Cost-effectiveness thresholds used by study authors, 1990-2121. JAMA 329(15):1312-1314,2023 [文献研究]

236号(2024.3.5)(通算216回)(2023年分その12:9論文)

○ [アメリカ・] メディケアのより進んだプライマリケア・モデル [CPC+] と高価値サー

ビスの提供

He F, et al: Participation in a Medicare advanced primary care model and the delivery of high-value services. Health Services Research 58(6):1266-1291,2023 [量的研究]

○ショックアブソーバーとしての医師：[アメリカの] 医師のバーンアウトと不満を生んでいる構造的要素のシステム

Jenkins TM: Physician as shock absorbers: The system of structural factors driving burnout and dissatisfaction in medicine. Social Science & Medicine 337(2023)116311 [質的研究 (エスノグラフィー)]

○ [イギリスNHSにおける若手] 医師の起業家精神 (行動)：若い医師の創業動機と行動の研究

Hoang H, et al: Physician entrepreneurship: A study of early career physicians' founding motivations and actions. Social Science & Medicine 339(2023)116393 [混合研究法]

○アメリカの病院医療における専門職 [医師] 報酬の2016-2020年 [の変化]

Peterson C, et al: Professional fees for U.S. hospital care, 2016-2022. Medical Care 61(10):644-650,2023 [量的研究]

○ [アメリカの] 病院・医師統合と価値に基づく支払い MIPSの初期の結果

Thai NH, et al: Hospital-physician integration and value-based payment Early results from MIPS. Medical Care 61(12):822-828,2023 [量的研究]

○ [アメリカにおける] 臨床的統合ネットワークへの参加と関連する病院特性

Hague EL, et al: Hospital characteristics associated with clinical integrated network participation. Medical Care 61(8):521-527,2023 [量的研究]

○基本に立ち返る：[イングランドNHSにおける] 統合された医療の評価についての基本的問いに取り組む媒介分析法

Lugo-Palacios, et al: Back to basics: A mediation analysis approach to addressing the fundamental question of integrated care evaluation. Health Economics 32(9):2080-2097,2123 [事例研究]

○ [アメリカ・] メディケアの歴史的な処方薬の価格交渉

Gostin LO, et al: Medicare's historic prescription drug price negotiations. JAMA 330(17):1621-1622, November 7,2023 [評論]

○女性のエンパワーメントの長期の世代間の健康便益：アメリカにおける女性参政権運動から得られたエビデンス

Noghanibehambari H, et al: Long-run intergenerational health benefits of women empowerment: Evidence from suffrage movements in the US. Health Economics 32(11)2583-2631,2023 [歴史研究・量的研究 (計量経済史研究)]

○ [アメリカ・] メディケアのより進んだプライマリケア・モデル [CPC+] と高価値サービスの提供

He F, et al: Participation in a Medicare advanced primary care model and the delivery of high-value services. Health Services Research 58(6):1266-1291,2023 [量的研究]

237号(2024.4.5)(通算217回)(2024年分その1:5論文)

○アメリカにおける医療の金融化

Bruch JD, et al: The financialization of health care in the United States. NEJM 390(2):178-182,2024 [評論]

○医療統合に対する経済的インセンティブ：スコーピングレビューとエビデンスに基づいたデザインのための教訓

Yordanov D, et al: Financial incentives for integrated care: A scoping review and lessons for evidence-based design. Health Policy 141(2024)104995, 15 pages [文献レビュー]

○ドイツの社会的に恵まれない都市部における医療統合【ネットワークのモデル事業】が医療利用と医療費に与えた影響：イベント・スタディの枠組みでの差の差分法による分析

Ress V, et al: The impact of integrated care on health care utilization and costs in a socially deprived urban area in Germany: A difference-in-differences approach within an event-study framework. Health Economics 33(2):229-247,2024 [量的研究・事例研究]

○一般医診療への薬剤師の統合【雇用】と影響の国際的動向：迅速文献レビュー

Karamatakis GD, et al: Integration and impact of pharmacists in general practice internationally: A rapid review. Journal of Health Services Research & Policy 29(1):56-67,2024 [文献レビュー]

○1つの時代の終焉？診断関連群（DRG）に基づいた活動ベースの支払い：高所得10か国における入院部門の支払い改革の文献レビュー

Milstein R, et al: The end of an era? Activity-based funding based on diagnosis-related groups: A review of payment reforms in the inpatient sector in 10 high-income countries. Health Policy 141(2024)104990, 8 pages [文献レビュー]

238号(2024.5.5)(通算218回)(2024年分その2:7論文)

○2024年【アメリカ】大統領選挙の保健医療上の4つの論点

Parekh A: Four defining health issues for the 2024 presidential election. JAMA 331(7):561-562,2024[評論]

○アメリカの病院医療の復活,2004-2019年

Quinn K, et al: The revival of US hospital care, 2004-2019. Medical Care 62(3):140-150,2024 [量的研究]

○歴史的なパンデミックから何を学べるか？ 体系的文献レビュー

Doran A, et al: What can we learn from historic pandemics? A systematic review of the literature. Social Science & Medicine 342(2024)116534, 19 pages [文献レビュー]

<アメリカのプライマリケア関連研究(4論文)>

○【アメリカの】プライマリケア【医】不足地域では緊急手術、重篤合併症と再入院が多い2015-19年

Schefer SL, et al: Higher rates of emergency surgery, serious complications, and readmissions in primary care shortage areas, 2015-2019. Health Affairs 43(3):363-371,2024 [量的研究]

○【アメリカの】メディケア・アドバンテッジ【保険と契約している】プライマリケア医は、同じ地域の平均と比べて、費用が安いと同様の質の医療を提供している

Politzer E, et al: Primary care physicians in Medicare Advantage were less costly, provided similar quality versus regional average. Health Affairs 43(3):372-380,2024 [量的研究]

○【アメリカにおける】4種類の先進的プライマリケア再設計事業がメディケア費用に与えた影響のメタアナリシス

Smith KW, et al: Meta-analysis of the impact of four advanced Primary care redesign initiatives on Medicare expenditure. Medicare Research and Review 81 (1):49-57,2024 [メタアナリシス]

○ [アメリカにおける] 多職種連携チームのケアマネジメントは医療の質を改善し、費用対効果が良いことを示すか？

Feagin Jr, FC et al: Does interdisciplinary care team care management improve health quality and demonstrate cost-effectiveness? Medical Care Research and Review 81 (1):19-30,2024 [量的研究]

239号(2024.6.5)(通算219回)(2024年分その3:9論文)

○急性期医療における質に応じた支払い(P4P)と患者安全：体系的文献レビュー

Slawomirski L, et al: Pay-for-performance and patient safety in acute care: A systematic review. Health Policy 143 (2023) 105051, 12 pages [文献レビュー]

○[医療費の]代替的支払いモデルと関連する[医療]サービス提供モデルが慢性期医療も質に与える影響のもつれを解く：スコーピングレビュー

Simmons C, et al: Disentangling the impact of alternative payment models and associated service delivery models on quality of chronic care: A scoping review. Health Policy 143 (2024) 105034 [文献レビュー]

○ [日本の] 医療・長期ケア費用のダイナミックスのパネル・ベクトル自己回帰モデル

Sugawara S (菅原慎也), et al: A panel vector autoregression analysis for the dynamics of medical and long-term care expenditure. Health Economics 33 (4) 748-763,2021 [量的研究]

<健康・医療[改革・介入]の影響等のマクロ分析(7論文)>

○健康が経済成長に与える影響：ナラティブ文献レビュー

Fumagalli E, et al: The impact of health on economic growth: A narrative literature review. Health Policy 143 (2024) 105039 [文献レビュー]

○健康[への介入]が労働市場アウトカムに与える影響：迅速体系的文献レビュー

Pintor MP, et al: The impact of health on labour market outcomes: A rapid systematic review. Health Policy 143 (2024) 105057, 11 pages [文献レビュー]

○健康と医療制度[への介入]から教育への相乗便益

Lee I: Co-benefits from health and health systems to education. Health Policy 142 (2024) 105016, 8 pages [文献レビュー]

○国際的な医療制度改革のダイナミックス：2008年経済危機とCOVID-19パンデミックへの対応における新しい波のエビデンス？

Berardi C, et al: The dynamics of international health system reforms: Evidence of a new wave in response to the 2008 economic crisis and the COVID-19 pandemic? Health Policy 143 (2024) 105052, 9 pages [国際比較研究]

○1965年米国投票権法が、ジムクロウ法[が実施されていた]南部諸州の黒人及び黒人対白人の乳児死亡率比に与えた影響、1959-1980年と2017-2021年

Rushovich T, et al: 1965 US voting rights act impact on black and black versus white infant death rates in Jim Crow States, 1959-1980 and 2017-2021. American Journal of Public Health 114 (3) :300-308,2024 [量的研究・歴史研究]

○ [アメリカのオバマケアによる] メディケイド拡充後の医療労働者の経済的アウトカム

の変化

Matta S, et al: Changes in health workers' economic outcomes following Medicaid expansion. JAMA 331 (8):687-695,2024 [量的研究]

240号(2024.7.5)(通算220回)(2024年分その4:9論文)

○病院の収益性とデジタル成熟度との関連—ドイツ・デジタルレイダー計画のデータを用いた探索的研究

Vogel J, et al: The association of hospital profitability and digital maturity - An explorative study using data from the German Digitalradar project. Health Policy 142(2024)105012, 8 pages [量的研究]

○治療の遅れは健康アウトカムにとってどれほど重要か? [イタリアにおける] 救急車の応答時間と心循環器系疾患の事例

Lucchese E: How important are delays in treatment for health outcomes? The case of ambulance response time and cardiovascular events. Health Economics 33(4):652-673,2024 [量的研究]

○医療企業化の政策と政治: イングランドNHSの事例

Sheaff R, et al: The policy and politics of healthcare corporatisation: The case of the English NHS.

Social Science & Medicine 342(2024)116505, 10 pages [定量的政策研究・理論研究]

○ [アメリカで] プライベート・エクイティ [企業] に買収された医師診療 [所] とその市場浸透は 2012-2021 年に大いに増加している

Abdelhadi O, et al: Private equity-acquired physician practices and market penetration increased substantially, 2012-2021. Health Affairs 43(3):354-362,2024 [量的研究]

* プライベート・エクイティ [・ファンド] によるアメリカ医療の略奪: 過小評価され規制もされていない災難

Geymn J: Private equity looting of U.S. health care: An under-recognized and uncontrolled scourge. International Journal of Social Determinants of Health and Health Services 53(2): 233-238,2023 [評論]

* [アメリカにおける] プライベート・エクイティに買収された診療所と買収さなかった診療所の労働力構成 [の変化]

Bruch JD, et al: Workforce composition in private equity-acquired versus non-private equity-acquired physician practice. Health Affairs 42(1):121-129,2023 [量的研究]

○ [オーストラリアにおける] プライマリケア提供者の企業所有と医師のウェルビーイング、労働量、組織効率とサービスの質との関係

Scott A, et al: Associations between corporate ownership of primary care providers and doctor wellbeing, workload, access, organizational efficiency, and service quality. Health Policy 142(2024)105028, 7 pages [量的研究]

○高所得12か国の社会的処方アプローチの比較

Scarpetti G, et al: A comparison of social prescribing approaches across twelve high-income countries. Health Policy 142(2024)104992, 10 pages [国際比較研究]

○支援付き住宅居住者の全米コホートから得られた死亡者の特徴と終末期ケアの経路

Belanger E, et al: Characteristics and end-of-life care pathway of decedents from a national cohort of assisted living residents. *Medical Care* 62(2):125-130,2024 [量的研究]

○ **【アメリカの】 ナーシングホームは直接的看護 [・介護] をますます人材紹介会社に依存するようになっている**

Bowblis JR, et al: Nursing homes increasingly rely on staffing agencies for direct care nursing. *Health Affairs* 43(3):327-335,2024 [量的研究]

○ **【アメリカの】 ナーシングホームの職員配置：2010-2021年に移民の認定看護助手の割合が増加し、自国出身の職員は減少している**

Jun H, et al: Nursing home staffing: Share of immigrant certified nursing assistants grew as US-born staff numbers fell ,2010-21. *Health Affairs* 43(1):108-117,2024 [量的研究]

241号(2024.8.5)(通算221回)(2024年分その5：8論文)

○ **イングランドでの民間【医療】部門の拡大と富者・貧者間のNHS治療格差の拡大：1997/98年度・2018/19年度間のNHS費用負担の待機的股・膝関節置換術入院の【民間部門への】置き換え**

Kirwood G, et al: Private sector expansion and the widening NHS treatment gap between rich and poor in England: Admissions for NHS-funded elective primary hip and knee replacements between 1997/98 and 2018/19. *Health Policy* 146(2024)105118, 7 pages [量的研究]

○ **デジタルヘルス技術と不平等：その潜在的影響と政策提言のスコoping・レビュー**
Badr J, et al: Digital health technologies and inequalities: A scoping review of potential impacts and policy recommendations. *Health Policy* 146(2024)105122, 9 pages [文献レビュー]

※ **推薦：日本医師会医療IT委員会(委員長 佐原博之氏) 答申「医療DXを適切に推進するための医師会の役割」** (2024年6月19日)

○ **【アメリカでの】 テレメディスン【利用】がメディケアの2019-22年の【医療】利用、費用と質に与えた影響**

Nakamoto CH, et al: The impact of telemedicine on Medicare utilization, spending, and quality, 2019-22. *Health Affairs* 43(5):691-700,2024 [量的研究]

○ **電子的情報交換は【アメリカの】メディケア受給者の【退院後】30日以内の再入院請求額低下と関連しているか？**

Turbow SD, et al: Is electronic information exchange associated with lower 30-day readmission charges among Medicare beneficiaries? *Medical Care* 62(6):423-230,2023 [量的研究]

○ **多ければ多いほど良いとは限らない：【アメリカの】ICUにおけるテクノロジー**

Olsen E, et al: More isn't always better: Technology in the intensive care unit. *Health Care Management Review* 49(2):127-138,2024 [質的研究 (インタビュー調査)]

○ **全米の非営利病院の住宅に関わる地域貢献プログラムの概観**

Celano A, et al: National overview of nonprofit hospitals' community benefit programs to address housing. *Medical Care* 62(6):359-366,2024 [量的研究]

○ **【台湾における】医薬品の重複を減らすためのリマインダー・レターのナッジ効果：ランダム化比較試験**

Cheng S-H, et al: The nudging effect of a reminder letter to reduce duplicated medications A

randomized controlled trial. Medical Care 62(5):326-332,2024 [量的研究]

○健康増進のナッジはなぜ失敗するのか？

Schramme T: Why health-enhancing nudges fail? Health Care Analysis 32(1):33-46,2024 [理論研究]

242号(2024.9.5)(通算222回)(2024年分その6:6論文)

○アメリカ成人の高価値医療と低価値医療の2010-2019年の所得別利用

Park S, et al: Use of high- and low-value health care among US adults, by income, 2010-2019. Health Affairs 43(7):1021-1031,2024 [量的研究]

○医療の過剰利用を減らすためのランダム化試験：スコーピングレビュー

Gupta R, et al: Randomized experiments to reduce overuse of health care. Medical Care 62(4):263-269,2024 [文献レビュー]

○【アメリカにおける】外来医療の断片化と【メディケア】総医療費【との関係】

Kern LM, et al: Ambulatory care fragmentation and total health care costs. Medical Care 62(4):277-284,2024 [量的研究]

○【アメリカの】脳卒中または一過性脳虚血発作で【入院後】自宅退院した患者の医療の継続性と医療利用・医療費との関連

Hou Y, et al: Association of continuity of care with health care utilization and expenditures among patients discharged home after stroke or transient ischemic attack. Medical Care 62(4):270-276,2024 [量的研究]

○20・21世紀を通じた健康不平等のU字曲線

Bambra C: The U-shaped curve of health inequalities over the 20th and 21st centuries. International Journal of Social Determinants of Health and Health Services 54(3):199-205,2024 [歴史研究]

○ヨーロッパ連合【加盟国】の地域に根ざした精神医療への移行：現状と見通し

Vandoni M, et al: The transition towards community-based mental health care in the European Union: Current realities and prospects. Health Policy 144(2054)105081, 7 pages [国際比較研究]

(参考)精神医療 医療か監禁か 精神病患者のための強制治療は本当に人間的か？

Care or confinement Is forced treatment for the mentally ill ever humane? The Economist December 24th, 2024:pp.29-30 (レポート)

243号(2024.10.5)(通算223回)(2024年分その7:7論文)

○【アメリカにおける】病院統合と医師の組合結成

Schulman K, et al: Hospital consolidation and physician unionization. NEJM 390(16):1445-1447,2024 [評論]

○【アメリカの】病院統合での医師【雇用】の選択：理論的考察と実証的知見

Alinezhad F, et al: Physician selection for hospital integration: Theoretical considerations and empirical findings. Health Care Management Review 49(2):94-102,2024 [量的研究]

○コロナ・パンデミックにより【アメリカの】全診療科の医師の総収入が大幅に減少した

Parikh RB, et al: The covid-19 pandemic led to a large decline in physician gross revenue across

all specialties in 2020. Health Affairs 43 (7):994-1002,2024 [量的研究]

○医療における公的資金の徴収は累進的であり得るか？ 29 か国のアセスメント

Rice T, et al: Can revenue collection for public funding in health care be progressive? An assessment of 29 countries. Health Policy 148 (2024) 105147, 10 pages [国際比較研究・量的研究]

○ヨーロッパにおける[破滅的医療費に対する 2 つの]経済的保護指標の公平・給付施策[評価]の感受性の評価

Cylus J, et al: Assessing the equity and coverage policy sensitivity of financial protection indicators in Europe. Health Policy 147 (2024) 105136, 7 pages. [国際比較研究・量的研究]

○医療経済学の視点からの健康の不平等のモニタリング：過剰体重に焦点を当てて

Mujica FP, et al: Taking a health economics perspective in monitoring health inequalities: A focus on excess weight. Health Policy 148 (2024) 105144, 8 pages [量的研究]

○費用効果分析が [すでに存在する] 健康格差を永続化するリスク

Basu S, et al: The risk of perpetuating health disparities through cost-effectiveness analysis. Health Affairs 43 (8):1165-1171,2024 [理論研究]

244 号(2024.11.5)(通算 224 回)(2024 年分その 8 : 7 論文)

○慢性非感染性疾患とともに生きる成人の健康関連スティグマを減らす：体系的文献レビューとメタアナリシス

Akyriem S, et al: Reducing health-related stigma in adults living with chronic non-communicable diseases: A systematic review and meta-analysis. Social Science & Medicine 356 (September 2024) 117153, 16 pages [文献レビュー]

○ [アメリカで] 社会的に弱い立場にある患者のニーズに応える：意図から行動に移ることについてのACOリーダーの見解

Khullar D, et al: Meeting the needs of socially vulnerable patients: View of ACO leaders on moving from intent to action. Health Affairs 43 (8):1100-1108,2024 [質的研究]

○ [アメリカにおける 2014 年のメディケイド拡大が低所得若年成人の健康、医療アクセスと経済的ウェルビーイングに与えた影響

Hamilton C: The impact of the 2014 Medicaid expansion on the health, health care access, and financial well-being of low income young adults. Health Economics 33 (8):1895-1925,2024 [量的研究]

○処方薬給付が服薬遵守と薬剤使用の乖離に与える影響：体系的文献レビュー

Kaplan CM, et al: The impact of prescription drug coverage on disparities in adherence and medication use: A systematic review. Medical Care Research and Review 81 (2):87-95,2024 [文献レビュー]

○希少疾患を持つ高齢者が直面する健康不平等を同定する：体系的文献レビュー及び倫理的スペクトラムと資源配分分析枠組みの提唱

Uwitonze JP, et al: Identifying health inequalities faced by older adults with rare diseases: A systematic literature review and proposal to an ethical spectrum and resource allocation framework. Health Policy 149, November 2024,105176 [文献レビュー・理論研究]

○健康とジェンダー平等の関係を調査する：母性及び生殖と性に関する健康サービスはどんな役割を果たすか？

Wang Y, et al: Investigating the relationship between health and gender equality: What role do maternal, reproductive, and sexual health services play? Health Policy 149, November 2024, 105171 [文献レビュー]

○医療の経済評価における[健康]波及の分配的帰結に取り組む：優先主義的アプローチ

Henry E, et al: Addressing the distributional consequences of spillovers in health economic evaluation: A prioritarian approach. Health Economics 33 (3):764-778,2024 [理論研究]

【参考】津川友介『世界一わかりやすい「医療政策」の教科書』（医学書院,2020）

245号(2024.12.5)(通算225回)(2024年分その9:9論文)

○プライマリケアの場での糖尿病マネジメントへの経済的インセンティブは高所得国における[糖尿病に関連した]避けられる入院と死亡を減らすか？体系的文献レビュー

Thavan T, et al: Does financial incentives for diabetes management in the primary care setting reduce avoidable hospitalizations and mortality in high-income countries? A systematic review. Health Policy 150, December 2024, 105189 [文献レビュー]

○フランスの[開業]一般医(GP)は医療需要の増加と医師不足にどのように対処しているか？パネルデータ調査と階層的クラスター分析

Davin-Casalena B, et al: How general practitioners in France are coping with increased healthcare demand and physician shortages. A panel data survey and hierarchical clustering. Health Policy 149, November 2024, 105175 [量的研究]

○分割時系列分析を斬新に応用して、[市場化と民営化を促進する]プライマリヘルスケア改革が成人スウェーデン人口における避けることが可能な入院の交差的不平等に与えた影響を同定する

Gustafsson PE, et al: A novel application of interrupted time series analysis to identify the impact of a primary health care reform on intersectional inequalities in avoidable hospitalization in the adult Swedish population. Social Science & Medicine 343 (2024) 116589 [量的研究]

○カナダ・オンタリオ州でのプライマリケアの支払い諸モデルと避けることが可能な入院：多値割り当て効果分析

Some NH, et al: Primary care payment models and avoidable hospitalizations in Ontario, Canada: A multivalued treatment effects analysis. Health Economics 33 (10):2288-2305,2024 [量的研究]

○デンマークの糖尿病患者の医療利用:救急受診を減らす上でのプライマリケアの役割

Laudicella M, et al: Healthcare utilisation by diabetic patients in Denmark: The role of primary care in reducing emergency visits. Health Policy 145, July 2024, 15079 [量的研究]

○距離を[実際よりも]長くする？[デンマークの]一般医の往診料についてのアップコーディング [の有無の検証]

O'Halloran J, et al: Going the extra mile? General practitioners' upcoding of fees for home visits. Health Economics 33 (2):197-203,2024 [量的研究]

○オランダにおいて一般医の電子的医療記録を用いて適切な処方をするための成果に基づく支払い(P4P)方式から得られた教訓

Arslan IG, et al: Lessons learned from a pay-for-performance scheme for appropriate prescribing using electronic health records from general practices in the Netherlands. Health Policy 149, November 2024, 105148 [質的研究]

○研修期間の延長が家庭医学診療医の供給と質に与える影響：カナダにおける家庭医学研修の義務化から得られた差の差分法によるエビデンス

Strobel S: Effects of extending residencies on the supply and quality of family medicine practitioners: Difference-in-differences evidence from the implementation of mandatory family medicine residencies in Canada. Health Economics 33 (3):393-409,2024 [量的研究]

○ [オーストリアにおける] プライマリケア医の退出 [の患者の医療利用と健康状態、医療費への影響]

Zocher K: Exiting primary care providers. Health Economics 33 (6):10333-1054,2024 [量的研究]

「私の好きな名言・警句の紹介」2024年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフ、雑誌の無署名・ペンネーム記事はその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

奥山陽子(234),東浩紀(234),小野寺拓也(235),井上ひさし(235),上野英信(235),Economist(236),大江健三郎(237),赤川次郎(237),伊集院静(238),江見康一(238=58,239=49),岩田健太郎(238),Awich(238),植田和男(239),伊藤公平(239),大越健介(239),植田まさし(240),梅棹忠夫(240),大山澄太(241),五木ひろし(241),宇野重規の同僚(242),内田樹(242),上野千鶴子(243,245),青峰大輝(243),内野雅一(243=67),安藤忠雄(244),アスクウィズ,R(245)

か行

コリアー,P(234),小島寛之(235),河野龍太郎(236),権丈善一(236),グロタンティーク,A(237),カーネマン(237),苅部直(237),今野敏(238),操上和美(238),黒田東彦(239),北島三郎(239),小峰隆夫(240,241,242),「ゴッドファーザー・パート3」(240,242:同じ言葉を紹介),河村たかし(240),栗林良之(241),川上武(242),後藤芳一(242),栗原俊雄(243),「黒子のバスケ」(243),国枝慎吾(243),コバッチ,B(245)

さ行

鈴木龍司(234),斎藤茂男(235),斎藤正身(235),杉本昌隆(236),真田広之(239),沢村貞子(239),妹尾堅一郎(240),佐々木正美(241),関満博(241=173),シャーマー,M(242),柴田哲孝(244),ジョンソン,O(244)

た行

高田彩美(234),田野大輔(235),照ノ富士(236),田中洋子(237),竹中淳(238),田口浩正(241,243:同じ言葉を紹介),ダルビッシュ有(242),土田直鎮(244),貴景勝(244),玉鷲(245)

な行

仁平典宏(234),西村淳(234),中村好一(241=173)

は行

倍賞千恵子(235),原昌平(236),ベシス,D(237),畑村洋太郎(240),細田昌志(241),橋幸夫(241),ヘミング,F(241),藤原帰一(243),ピケティ,T(245),フックス,VR(245)

ま行

間宮弘晃(235),森田省吾(238),森喜朗(239),宮本憲一(239),モハマド,MB(240),ムヒカ,H(240),森永卓郎(242),マッキンタイヤ,L(243),前嶋和弘(243),藻谷浩介(243,245),森本あんり

(245)

や行

養老孟司(236,237),吉村昭(237)

ら行

ローゼンステール,T(245),ローマー,MI(245)

わ行

若松英輔(237),和田泰明(239),